

# 文教福祉常任委員会

**議案第52号 南相馬市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について**

**質疑** 資料に示された数値と昨年度を比較すると、保険者負担額は同じであるが費用額が異なっているが理由を伺う。

**答弁** 請求の関係で2ヶ月から3ヶ月遅れたり、審査の関係で戻し入れがあったり、昨年の費用額はこの時点で固まらず見込みで計上した。今年度は、実績額を掲載した。

**質疑** 推計と実績に差が生じているが、どのように分析・解析して条例改正の検討をしたのか伺う。

**答弁** 19年から21年度の3年間の平均の伸び率が4.43%であり、さらに診療報酬の今年度改定分による0.19%を加えた4.62%とした。

**反対討論** 保有している1億900万円の基金を引き下げに使っていない。基金は、万一の大きな予想しない変動が生じた場合のためであれば、ぎりぎりまで引き下げる努力をすべき。また、収納率について

ではもっと上げる方向で試算すべき。赤字の際は、一般会計で補填する方法まで考慮すべきであり反対する。

**賛成討論**

本案は、医療費の伸びを的確に捉えるよう努力しながら、保険税を安く抑えられるよう、できるだけ軽減する配慮がなされている。税の公平・公正性、あるいは妥当性、更には保険税の算定基準にも合理性がある観点で賛成する。

採決の結果、原案の通り可決。

**議案第57号 平成22年度南相馬市国民健康保険特別会計補正予算について**

**質疑** 県内でも本市の資格証明書の発行割合が群を抜いて高い。徴税にあたって、資格証と短期証の発行の実態について、どう受け止めているのか伺う。

**答弁** 市内経済状況が非常に悪い。その事を踏まえて納税相談をしながら、税務課と一緒に納税環境を整えていく。今後は、執行部として何らかの取り扱いを考えていき

たい。

**反対討論**

国保税の算定基礎に疑問がある。国保税をマイナス補正するとか、資格証を発行していない他市町村を見習うべきである。全ての市民が、健康で過ごす権利を奪っている実態等を指摘し反対する。

**賛成討論**

税負担の公平・公正に対応しており、納税者の立場で税の相談を実施している。各部課で横断的に情報を共有し、また、経済情勢の改善を視野に入れ検討することを目指す。採決の結果、原案の通り可決。

**議案第58号 平成22年度南相馬市介護保険特別会計補正予算について**

**質疑** 当初予算で、存目ということで良いのか。高額医療合算介護サービス費が、一定程度の目安と思う。試算、推計をし、進むべきではないか伺う。

**答弁** 電算システム構築などとの関係上遅れが発生し、3月まで額が決定できず、医療保険者からの通知で補正予算を計上しようとの考えで存目にした。

審査の結果、原案の通り可決。

**議案第56号 平成22年度南相馬市一般会計補正予算について**

**質疑** 図書館費について、リピーターを増やすPRや、新規利用者増の対応策を伺う。

**答弁** 小高・鹿島の小中学校を司書が訪問している。また、中央図書館開館後に、原町区も学校訪問を実施し利用者増を図っている。

**質疑** 学校建設費について、小高小体育館の耐震改修、原一中体育館の改築時の代替施設は、どこを利用するのか伺う。

**答弁** 原町区では小川町体育館、小高区では小高体育センターを活用したい。

**質疑** 現在、教育委員会で捉えている工事費用について伺う。

**答弁** 小高中は5千600万円、原一中は4億7千500万円、八沢小は3億2千万円である。

**質疑** 博物館費について、泉官衙遺跡の郡家の展示で、他の博物館との連携やPRは、どのように進めるのか伺う。

**答弁** 事前PRを兼ねて全国の博物館に対してポスター・チラシ等により情報発信する。また、中央図書館との合同展示も考えている。

**質疑** スクールサポート事業について、職員配置の内訳を伺う。

**答弁** 学校の実態に応じて、市内19校に13名を配置する。

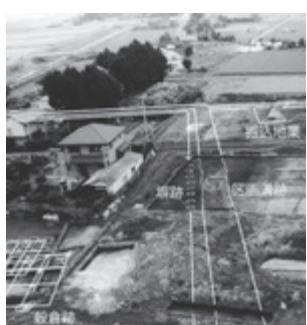
**質疑** 公園墓地整備事業について、提供する面積や単価を伺う。

**答弁** 一区画4㎡で、24万円を予定している。

**質疑** 中学生医療費助成事業について、211万円に合うのか伺う。

**答弁** 今年10月からの早年に要する経費である。国の施策を待っていたのでは、実現しないとの判断で検討を重ねた結果、今回、中学生までの入院の医療費について無料化を実施する。今後は、通院分についても段階的に財源確保を図りながら、持続可能な制度としてなるべく早く実現できるように進めたい。

審査の結果、原案の通り可決。



原町区 泉官衙遺跡

第3回定例会の一般質問は、6月14日・15日・16日の3日間行なわれ、15人の議員が活発な議論を展開しました。

# 一般質問

## 一問一答

質問順に掲載しています。  
また、内容は紙面の都合で要約しています。

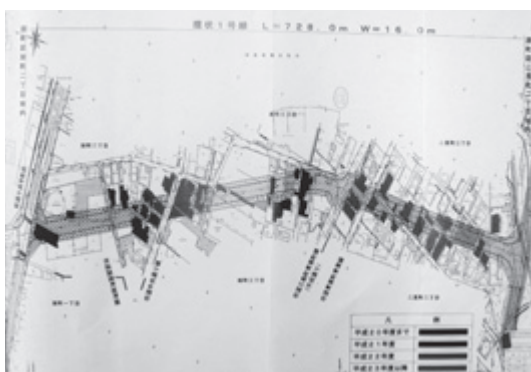
### 施政方針等に対する論戦

**問** 南相馬市民の個人所得合計は、2007年から09年の2年間に93%まで落ち込み、60億円も減っている。市民の暮らしが危機的状况にあり、破綻しつつある。市長の率直な見解を伺う。



渡部 寛一 議員

**答** 市民生活は、厳しさが増していると認識している。  
**問** 市民の生活を守るために、「高くて払えない国保税」をあらゆる手立てで、引き下げるべきだ。貯めこんである基金の取崩し、一般会計から繰入れる考えは。



環状1号線の図面

**答** 基金取崩しは難しい。一般会計繰入は考えていない。  
**問** 市長は選挙公約で「中学卒業まで医療費を無料にする」としていた。今度の予算で、入院だけ中三まで無料にするとしている。期待からはほど遠い。当市での通院無料は、県内最低の小学校入学前までにとどまっている。相馬・双葉地方の他の市町村は通院も中三まで無料だ。拡充を急ぐべきだが見解を伺う。

**答** 財政状況等を勘案し、早い時期に実施する見解を伺う。

生活危機を救う

市政を

るよう検討していく。  
**問** ムダな大型事業を継続しながら、財源が無いとしている。「ムダの典型、環状1号線」予算が補正で復活しているが、見解を伺う。  
**答** 総事業費は、圧縮の方向性をもって進めたい。

#### ちょっとホンネ

都市計画税廃止を一年早めただけで、結局「渡辺市長」と何も変わっていない??

#### その他の質問

- 1 国保の資格証発行をなくせ
- 2 特色ある学校づくり予算は、廃止すべきではない